

平成31年3月1日

P T A 振興会会報（定時制）

秋田県立本荘高等学校 校長 今井 智幸

生徒一人ひとりを大切に育む教育

日頃、保護者・教育振興会・同窓会等、学校関係者の皆様や、地域の方々からは、本校定時制の教育活動に、特段の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今年度は、本校定時制創設七十年記念式典をはじめとする各種記念事業を、無事成功裏に終えることができました。およそ一年程前の記念事業実行委員会の立ち上げから始まり、各種記念事業に向けて計画、準備を進めてきました。関係者皆様の多くの御支援に心から感謝申し上げます。特に、記念式典当日の生徒代表挨拶をはじめ、来賓受付・誘導での生徒の活躍や記念演奏会での生徒による司会など、生徒と職員、学校関係者が一体になって作り上げていたことに対して、数多くの好評をいただきました。

また、全県定通高校総体の軟式野球で初優勝、全国定通高校総体の剣道女子個人で鈴木蓮華さんが三位となる活躍をしています。昨今の人手不足で雇用環境がよくなったとはいえ、卒業生の就職内定も順調に決まっています。

2018年3月の国立社会保障・人口問題研究所の公表によれば、2045年までの秋田県の人口は、2015年比で41.2%減の60万1649人と推計されています。更に、県人口に占める0歳未満の割合や高齢化率は、いずれも全国ワースト。県人口に占める15歳未満の割合は、7.4%の全国最小。高齢化率は、50.1%の全国最大で、65歳以上の高齢者が県人口の半分以上を占める結果となっています。本県の少子高齢化は言われて随分久しくなりましたが、一向に歯止めがかからず、深刻な近未来予測がなされています。

グローバル化の加速、高度情報化の進展、人工知能の発達等にあって、本県人口の近未来予測は、教育の使命を改めて深く認識させるものです。未来の社会や時代を担い、拓くのはいつの時代にあっても若者だからです。生徒一人ひとりが社会的自立に必要な資質・能力を身に付け、よりよい人生と社会の形成者となることができるよう、生徒一人ひとりを大切にし、育む教育が求められています。

保護者・教育振興会・同窓会の学校関係者や地域社会との連携・協働を深めながら、教育活動の一層の充実を図るため、職員一同力を尽くして教育活動に努めていく所存です。これまでと変わらない御理解と御協力、御支援をお願い申し上げます。